
■■■ 北海道 CT 遠友 ser 会 mail

◆ No.1 ◆2013/2/28

■□□

■■■ 北海道 CT 遠友 ser 会

■□□ <http://enyouser.umin.jp/>

■■■

■□ CONTENTS □■

- (1) 【ご挨拶】
 - (2) 【トピックス】
 - (3) 【特別企画】
 - (4) 【編集後記】
-
-

(1) 【ご挨拶】

北海道 CT 遠友 ser 会代表世話人

医療法人 耳鼻咽喉科麻生病院 宮下 宗治

「北海道 CT 遠友 ser 会」への入会を、心より歓迎致します。ここにメールマガジンの創刊号を配信出来ることを喜ばしく思います。

創刊号の内容は、お決まりの挨拶文（読み飛ばして頂いて結構！）に始まり、【トピックス】として先日千葉で開催された「第4回 ADCT 研究会」の報告を、東芝メディカルシステムズ(株)北海道支社（以下東芝）アプリケーション部の小山さんにしていただきました。今後はアプリケーション担当およびサービス担当者から、普及機も含め全てのユーザーに有益な情報提供が出来ればと考えております。

また【特別企画】画論 20th The Best Image 2012 受賞施設紹介として、昨年の画論受賞施設の東芝担当営業の方に、取材をお願いしました。受賞されたのは二施設でしたが、いずれも読み応えのある濃い内容でしたのでメールマガジン掲載は一部とさせて頂き、つづき（全文掲載）は記載 URL よりアクセスしてお楽しみ頂ければと思います。

次号以降も隔月を目処に本ユーザー会独自の内容で配信させていただく予定です。会員の皆様におかれましては、ご意見・ご要望は元よりご投稿・取材協力・アンケート回答などをお願いすることがあると思いますが、ご協力をよろしくお願い致します。

なお、世話人一同不慣れなため至らない点が多々あると思いますが、東芝 CT 装置および社員一同と同様に、伸び代を有していると御理解頂きご容赦願えれば幸いです。

主催者代表

東芝メディカルシステムズ(株)北海道支社 支社長 嶋 博巳

「北海道 CT 遠友 ser 会(えんゆうかい)」にご入会頂き誠にありがとうございます。

北海道内における東芝 CT ユーザー様からのご意見をもとに、世話人の方々のご尽力のもと、長年実現できていなかった CT ユーザー会を発足することができました。

弊社からの情報発信メルマガとしては、いままで TOSHIBA epicus mail (エピクスメール) がありましたが本メルマガは、皆様方からもご意見をいただき、日々の臨床に役立つ有益な交流の場となることを願っております。

これからも皆様から頂くご意見を弊社の日々の業務に生かし、より良い製品とサービスをご提供すべく尽力してまいりたいと思います。本ユーザー会が皆様にとって真に役立つユーザー会になりますようご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

(2) 【トピックス】

第 4 回 ADCT 研究会参加報告

東芝メディカルシステムズ(株)北海道支社 CT アプリケーション担当 小山 知佳

2013 年 1 月 12 日 千葉大学けやき会館にて第 4 回 ADCT 研究会が開催されました。この研究会は Aquilion ONE ユーザー中心に、より最適な撮影を行うために新たな撮影技術や問題点を情報共有し解決していくことを目的に立ち上げられた会です。Aquilion ONE も国内稼働数が 130 台を超え、使用施設が増えたこともあり参加者は 271 名と大盛況でした。

研究会の内容は4部構成からなり、第一部では東芝から、RSNA2012の報告と昨年発売した320列CTの上位機種「Aquilion ONE / ViSION Edition」について情報提供がありました。第二部の一般演題では、心臓検査の撮影条件・曝射位相の決定方法や、AIDR 3D（注1）・vHP（注2）の臨床評価など実践的な発表が多く、非常に参考になる演題ばかりでした。第三部では320列CTを使用している各施設での撮影条件のアンケート報告がありました。第四部の特別講演では「心臓CTの最前線」という演題で東京大学医学部附属病院の富澤先生より、心臓CTのプロトコルの検討方法や、Aquilion ONE / ViSION Editionの有用性、冠動脈含めた複数部位の検査の紹介など、実際の撮影・造影条件を紹介されており有用な情報ばかりでした。

またロビーには展示ブースもあり、休憩時間にメーカーと先生方、また先生方同士での交流で賑わっていました。

次回（来年）の第5回ADCT研究会は1月or2月に名古屋で開催する予定だそうです。今回の情報も含め、ADCT研究会ホームページにて随時更新予定とのことですので、Aquilion ONEユーザー、またAquilion ONEに興味ある方はアクセスしてみたいかがでしょうか。

（注1）AIDR 3D

東芝が開発した逐次近似応用再構成法。収集された投影データ上で、統計学的ノイズモデル、スキャナーモデルを用いてノイズを低減、さらに、アナトミカルモデルを用い、画像再構成の中でノイズ成分のみを抽出して繰り返し除去します。AIDR 3Dの使用により最大50%のノイズ低減と、75%の被ばく低減効果を発揮します。

（注2）vHP

Variable Helical Pitch Scanの略。一回のヘリカルスキャン中に、寝台移動速度（HP）と設定ノイズレベル（SD）を変化させる撮影方法。心電図同期ON/OFF連続切替も可能で、心臓～大血管・下肢血管の1スキャン検査も可能です。

（3）【特別企画】

画論 20th The Best Image 2012 受賞施設紹介

画論 20th The Best Image 2012 Aquilion ONE 心大血管部門 最優秀賞受賞

NTT 東日本札幌病院 様

受賞者 : NTT 東日本札幌病院 八十嶋 伸敏

担当営業 : 東芝メディカルシステムズ (株) 札幌支店 永田 篤生 (1981 年入社)

<担当営業から>

今回、私の担当施設である NTT 東日本札幌病院様が画論 20th The Best Image 2012 で Aquilion ONE の心大血管部門で最優秀賞を受賞されました。

NTT 東日本札幌病院様は、画論に関心が高く現場の技師の方々が毎年応募していただき、しかも Aquilion ONE 部門ができた 2009 年から、2010 年、2011 年と全て受賞 (優秀賞) しており、今回も結果を楽しみにしていました。

受賞式当日は、私も同行していて発表とともに喜びが全身を貫き自分のことのように感動しました。営業をしていて、嬉しい事は商談が取れた瞬間よりも、納入後にユーザー様と共に最善の状態を作り上げて [東芝を選定して良かった] と言われる一言が聞けた時です。

2011 年の画論は超音波部門で最優秀賞を受賞、今回、CT 部門最優秀賞を受賞と部門は違いますが二年連続最優秀賞を受賞され、喜びの中にある NTT 東日本病院の八十嶋様を訪ね、インタビューをしてきましたので、北海道 CT 遠友会 ser 会の皆様にご紹介致します。

<インタビュー>

・・・続きをご覧頂く場合は、こちらよりご覧ください。

<http://enyouser.umin.jp/archive.html>

画論 20th The Best Image 2012 CT 1-32 列部門 (Alexion) 優秀賞受賞

天塩町立国民健康保健病院 様

受賞者 : 天塩町立国民健康保健病院 津田 健志

担当営業 : 東芝メディカルシステムズ (株) 旭川営業所 桧山 健彦 (1991 年入社)

<担当営業から>

この度、天塩町立国民健康保健病院様が画論に初応募頂き、CT 1-32 列部門「脳挫傷による微小出血」にて優秀賞を受賞されました事を担当営業として大変喜ばしく誇らしく私事のように感動に包まれ正に営業冥利に尽きる瞬間を感じる事が出来ました。(表彰式の御出席に際しましては、予約していた稚内空港発の航空機が大雪の

ため欠航となりあわやの事態でしたが…)

この場をお借りして、たった御一人で画論に応募を頂いた津田様、またその画像を高く御評価頂きました審査員の先生方に深謝申し上げます。

以下、今回初受賞されました天塩町立国民健康保健病院の津田様にインタビューを致しましたのでここでその内容の御紹介をさせていただきます。

<インタビュー>

・・・続きをご覧頂く場合は、こちらよりご覧ください。

<http://enyouser.umin.jp/archive.html>

(4)【編集後記】

2度あることは3度ある。二月中旬の土曜日、東京から帰る飛行機の中でそう思った。「降りられない場合は羽田空港へ引き返します。」聞き覚えのあるフレーズだ、CAさんの声が無機質に響いた。どうやら雪で新千歳空港に降りられないらしい。暫くして機長が「除雪が進まず、待っていても燃料が持たないので羽田に引き返すことになりました」とアナウンスした。「マジか？」今まで旋回していた飛行機は、進路を東京に向け、迷いなく進み始めた。「相変わらずツイテない。」

実は私には過去に2度ほど同様の経験がある。すべて冬に東京の学会・研究会に参加してからの帰り道だ。2度のアクシデントを経験した私は詳細なデータ分析と当時の雰囲気から、常時乗る飛行機をJALからANAに乗り換えた。その後は3年間ノントラブル、多少吹雪いていても、問題なく帰ってこられた。完璧なリスクマネジメントだ。いや、だった。

4時間のフライトを終えて羽田に戻ってから、どのような状況になるかという、明日の便の予約を取るか、払い戻しするかを迫られる。翌日帰る分には仕方ないのだが、問題は宿泊だ。航空会社はホテルの世話はしてくれない。今回はホテルの電話番号リストを渡された。片っ端から電話をするが、どこも一杯だ。「そりゃそうだろう、土曜の夜、11時過ぎている。」しかも、この便だけでも200人以上の帰れなくなった人たちがいる。なかなか埒があきそうにないので、東京在住の何人かの知り合いに連絡を取ったところ、さっきまで一緒に学会に参加していたK立GセンターのS木さんに連絡が取れた。[普段の倍以上の金額だったが] ネットでホテルをとってもらい、そのホテルが分かり難いところにあるということで、わざわざ羽

田まで車で迎えに来てくれた。疲れているであろうに本当に申し訳なく、感謝に絶えない。

彼がいなければ空港のロビーで朝を迎えていたかもしれない。ホテルに入り、眠りにつく瞬間、こんなに遠いところに友がいる自分の境遇に奇跡を感じた。「もしかしたらツイテいる。」改めて彼に感謝した。

遠友 ser 会世話人 Y・H

=====

このメールマガジンは、北海道 CT 遠友 ser 会のホームページから会員登録をされた皆様へ配信しております。もし、お心当たりが無く配信を希望されない場合には、大変お手数でございますが下記の配信停止手続きをお願い申し上げます。ご登録情報の変更は、お手数ですが以下のページより手続きをお願い致します。

■配信停止

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mir-mcpao-5da80dee47fea249f2eef2657cc89444>

■登録情報変更

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mir-mcpam-9a9db7c7d78cda90ff60704a2ce7d354>

.....

<お問い合わせ>

本メールアドレスは発信専用です。返信いただきましてもご回答は差し上げられません。お問合せやご要望等は以下のページからお願い致します。

http://enyouser.umin.jp/inquiry_faq.html

.....

<個人情報保護方針>

弊社の個人情報保護に関する考え方については、下記のページをご覧ください。

<http://www.toshiba-medical.co.jp/tmd/utility/privacy.html>

.....

編集・発行

- ・北海道 CT 遠友 ser 会
- ・東芝メディカルシステムズ株式会社 北海道支社
担当（お問合せ先）： 森 淳一 ， 前田 芽衣
TEL： 011-785-3131